

モリアオガエル

成体になるとオスは6cm、メスは7cmほどの大きさになります。指先には吸盤（きゅうばん）があり、木の上の生活に適しています。背中の色は深緑色で、個体によっては茶色の丸いまだら模様が現れます。シュレーゲルアオガエルに似ていますが、目の虹彩（こうさい）が、赤っぽいことで見分けられます。

他のカエル類と同様に肉食性で、昆虫類やクモ類などを食べます。

主に山地の森に、多く生息します。繁殖期の4月から7月頃になると、池や湿地などに集まり、オスがメスを誘う際に「コロコロ、コロコロ…」と鳴きます。

水上に出た木の枝や草の先端で、クリーム色で泡状の卵塊（らんかい）が見られます。1~2週間すると卵がかえり、雨などと一緒に水面に落ちます。その後、オタマジャクシは8月~9月頃に変態し、樹上で生活に移ります。



富士市での現状

今回の調査では、丸火自然公園や桑崎の池やはたご池等で確認されました。

火山堆積物（スコリア）の関係で、富士市の標高が高い場所では、水が地下を通るため、水が溜まる場所が多くありません。なので、繁殖期には限られた水辺周辺に集まっているようです。

モリアオガエルを確認したメッシュ

